

いずみさの教育



問合先
学校教育課

自分の気持ちを伝えよう！小・中学校外国語教育

平成32年度から全面実施となる小学校の新学習指導要領（平成29年3月告示）において、小学3・4年生に外国語活動（年間35時間）、5・6年生に外国語科（年間70時間）の授業を導入することが決まりました。本市では今年度より段階的に、小学3・4年生で年間15時間、5・6年生で年間50時間の外国語の授業を行う計画で各校が取組を進めているところです。

新学習指導要領では、語彙や文法などの知識の理解に留まるのではなく、これらの知識を児童・生徒が学習活動を通して、実際のコミュニケーションにおいて活用できる力の育成が求められています。そのため、本市においても、小学1年生から少しずつ外国語の「話すこと」「聞くこと」に慣れ親しむ取組を進めています。そして、6年生では、自分の考えや気持ちを簡単な表現を用いて、外国語で伝えることができる力を身に付けることを目指しています。また、中学校では自分の考えや感じたこと、その理由を簡単な語

句や文を用いて即興的に外国語で伝え合う力を育成することを目標としています。

これからの小・中学校の外国語教育では、決まった語句や文章を覚えて相手に伝えるというような形式的なやりとりや発表だけを行うのではなく、具体的な課題を設定し、コミュニケーションの目的や場面、状況などを意識した学習をする中で、コミュニケーション活動を充実させていくことが必要となります。このような授業を繰り返し行うことで、児童・生徒のコミュニケーション能力の育成を図っていきます。また、中学校では、「話すこと」だけではなく、「書くこと」も含めた外国語による表現をさらに豊かにするための取組を積極的に進めていきます。

今後も泉佐野市において、子どもたちが「自分の気持ちを伝えたい」「相手の気持ちを聞きたい」と思える外国語の授業を展開し、その中でコミュニケーション力が身に付くような取組を進めていきます。



学校園紹介



いろいろな体験を通して（心豊かな子どもの育成） ～第一小学校～

本校は「心豊かな子どもの育成をはかり、確かな学力向上に努める」を教育目標とし、地域のみなさんの支援を得ながら教育活動を営んでいます。

1学期には、各学年で様々な体験をしました。1年生は校区にある「公園めぐり」、2年生は校区の「町たんけん」、3年生は校区を知ろうと言うことで「校区の施設めぐり」、2年生・4年生で地区福祉委員会のみなさんの協力を得ながら「じゃがいも掘り」、5年生は「田植え」を体験し、2学期には収穫をさせていただきます。子どもたちは身近にある自然にふれあい、身近にある施設を詳しく知ることによって心が豊かに育つと考えています。また、4年生は女性



センターからゲストティーチャーを招いて、「男らしく」「女らしく」よりも「自分らしく」という男女平等教育について学びました。5年生は夏休みに入ります。大阪府立少年自然の家にて1泊2日の林間学校を実施し、クラスの和・

学年の和を持ち帰りました。2学期にはその成果を十分に生かしてくれるでしょう。最高学年である6年生は、大阪府立佐野工科高等学校定時制の先生と生徒のみなさんに来ていただき、7月にプログラミングの授業を実施しました。



ノートパソコンを使い、自分の意図したプログラムを転送し、ロボットを実際に動かす体験をしました。これからの社会をよりよく過ごすために、コンピューターを主体的に、そして正しく活用する姿勢を身につけることができました。

2学期もいろいろな体験を通して、心豊かな子どもの育成に取り組んでいきます。

人権を尊重し、命を大切にすることを育成 ～長南中学校～

本校では2016年度に、いじめの事例を取り上げ、そこから生徒全員で考え、学年ごとに取り組み、それを発表し、全員で共有する「人権集会」が始まりました。

【人権週間より】 当時の人権担当が全校集会で、いじめによる自殺で亡くなられた中学2年生女子の話を、映像とともに話しました。生徒はこの話を受けて感想を書き、「いじめ防止」の深い学びへと向かいました。

【人権集会】 各学年で、人権週間に機に「いじめ」について考える取組を行い、学んできた内容や、いじめをなくすために考えた事を、全校集会で発表しました。1年生からは、「いじめられている人も愛情を受けて生まれていることを改めて認識し、いじめられている人の家族もたくさんのものが奪われていると思った。」ということが発表されました。また、いじめのない学年にするには、「周りの事を思いやれる行動ができる学年になることが大事だと思います。」という報告がありました。2年生は、いじめによる自殺未遂に至った本を学習し、「笑顔は人を幸せにできるけど、時には嫌な思いをさせることもあるということを知った。」ということが発表されました。いじめをなくすためには、「ひとつの行動に相手はどう思うか考え、責任を持つべきだと思った。」という意見が紹介されました。3年生は、会話の中から言ってはいけない言葉を指摘し、正しい方向に向ける寸劇を演じました。また、いじめられた体験を語るDVDを見た感想が述べられました。最後には、何が傷つくか、大切なものは何かを掲示し、「人権を大切に考え、行動できる人になりたいです。」と締めくくりました。

【恒例化した取組】 こうした取組は2017年度にも引き継がれ、各学年が人権について学び、発表しました。今年も12月には各学年がいろいろな角度から人権教育を深めていきます。また、今年度前期生徒会も「人権を尊重し、人の気持ちを考えて、行動しよう」とポスターを貼って、啓発しています。

長南中学校では、人権と命を大切にすることを恒例化しています。

